

名古屋市立大学病院にて前庭神経炎で治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

当院では前庭神経炎の全国疫学調査をおこなっております。この研究は前庭神経炎の実態把握を目的として、耳鼻咽喉科診療施設を対象として行う研究で、日本めまい平衡医学会の疫学委員会が中心となっておこないます。

【研究課題】

前庭神経炎の全国疫学調査

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関　名古屋市立大学病院

研究責任者　耳鼻いんこう科　教授　岩崎真一

【研究期間】

IRB 承認日～2023 年 3 月 31 日

【対象となる方】

2020 年 10 月 31 日～2021 年 9 月 30 日の間に、当院耳鼻いんこう科にて新たに前庭神経炎と診断された方。

【研究の意義】

前庭神経炎は、内耳と脳とをつなぐ前庭神経に炎症が起こることによって、激しい回転性めまいを生じる病気です。回転性めまいがおさまった後も、体動時のふらつきなどが長く続きます。本疾患の原因として、ウイルスの感染が関与しているといわれておりますが、まだわかっておりません。本研究で、前庭神経炎の罹患率、背景などについて明らかにされることで、この病気の難治疾患の申請や新たな治療の開発につながることが考えられます。

【研究の目的】

本邦における前庭神経炎の罹患率、背景について、より精密な調査を行い、病態の把握および新たな治療法の確立に役立てることです。

【研究の方法】

当院を含めた全国の耳鼻咽喉科施設において、前庭神経炎の患者さんの年齢や性別、前庭機能検査結果、治療内容などについて、カルテをもとに調査を行います。

これまでの診療でカルテに記録されている前庭機能検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学生が充分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかる規定等は、以下のホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”

<http://ncu-cr.jp/patient>

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等（年齢や性別、前庭機能検査結果など）は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において管理責任者が、鍵のかかるロッカーに、電子ファイルおよび紙データとして厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2022年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいたしかなかった場合、ご了承いただいたものとさせて頂きます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本めまい平衡医学会から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2021年10月1日

【問い合わせ先】

名古屋市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉頭頸部外科 教授 岩崎真一

住所：愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1

電話：052-853-8256 FAX：052-851-5300